

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### （1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に、個性豊かで情操に富んだ人間として、平和で民主的な社会の発展に貢献する生徒を育成する。

### （2）具体目標（目指す生徒像）

- ・情操や感性が豊かで個性のある生徒
- ・自主的に学び創造性に富む生徒
- ・心身ともに健康で実践力のある生徒

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）あいさつができ、いじめのない、居がいのある学校を目指す。

（2）自主性を尊重し、生徒や教職員の良さが十分に活かされる学校を目指す。

（3）保護者や地域から信頼される、開かれた学校を目指す。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）○体力の向上を図り、主体的に行動できる能力・態度の育成に努める。

（2）○心豊かな人間性の育成に努める。【重点】

（3） 確かな学力の定着を図り、学習意欲を高める授業の確立に努める。

（4） 小中一貫教育と地域学校園の取組の円滑な推進に努める。

（5） 持続可能な社会を目指しE S Dを推進する。【重点】

（6） 働き甲斐のある職場づくりの推進に努める。【重点】

### 【泉が丘地域学校園教育ビジョン】

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成  
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

## 4 教育課程編成の方針

（1）「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等を踏まえ、本校教育目標が達成できるよう全職員の理解と協力によって編成する。

（2）新中学校学習指導要領改訂のポイントである「社会に開かれた教育課程」「これからの時代に求められる資質・能力」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学び」を踏まえる。

さらに、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を図るため、教育課程全体において、教科横断的な視点からの指導のねらいの具体化や、教科等間の指導の関連付けなどを推進する。

（3）「G I G Aスクール構想」推進に向けて1人1台端末の本格的な活用を積極的に進めていく。

（4）生徒の調和のとれた育成を目指し、学校の実態及び生徒の心身の発達段階を十分に考慮する。

（5）宇都宮市の小中一貫教育の趣旨を生かし、泉が丘地域学校園内の小学校と連携しながら、創意工夫を生かした特色ある教育、特色ある学校づくりを進めるような編成を行う。

**5 今年度の重点目標（短期的視点）** ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>(1) 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職としての自覚を高め、常に組織的に対応に努める。</li> <li>・子どもと向き合う時間を確保するため、校務の工夫改善及びスリム化を図る。</li> <li>・教職員の時間管理を徹底し、勤務時間を意識した働き方を推進する。</li> </ul>
<p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力や、自分で考え判断し、表現する力を育成するとともに、たくましさを涵養する。</li> <li>・総合的な学習の時間などで、E S Dの理念を生かした学習活動を取り入れる。</li> </ul>
<p>(3) 児童生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさを涵養する。</li> <li>・不登校、いじめの未然防止を図るため教育相談を充実させるとともに、不登校の解消を図るため生徒個々の状況にあわせて柔軟に対応する。</li> </ul>
<p>(4) 健康（保健安全・食育）・体力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。</li> <li>・自己の体力の現状を具体的に把握させ、積極的に自己の体力を伸ばしていこうとする態度を育てる。</li> </ul>

**6 自己評価** A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、生徒が自分の意見を自由に発表できる機会や雰囲気を作り、思考力・判断力・表現力を育む。</li> <li>・各授業の中で、タブレット端末を活用した意見交換やグループ学習の機会を増やし、「共に考え合え、学び合える場」を計画的に設定し、主体的な学習態度を育む。</li> </ul>	B	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 92.3%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の意見を自由に発表できる雰囲気づくりに尽力する。</li> <li>・生徒の学力向上に効果的な ICT 端末の活用を校内研修会などで取り上げる。</li> </ul>
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の教科道徳で、学校行事と関連する内容の題材を取り上げ、人権尊重の心や思いやりの心を育む。</li> <li>・学校教育活動のあらゆる場面で、「相手がどのような気持ちなのか」を考える力、「自分とは異なる考え方」を受容できる力を重視し、様々な立場の人との共生への意識を高める。</li> </ul>	B	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 92.0%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳等の授業において、人権尊重の心や思いやりの心を育む機会を確保する。</li> <li>・生徒同士のコミュニケーションの機会を増やして相互理解を深めたり、学級におけるあるべき言葉遣いや友人への態度などを指導していく。</li> </ul>

	<p>A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や学校行事、部活動などそれぞれで目標を立てて取り組ませ、振り返りを行うことで、次への意欲を高めさせる。</li> <li>・目標実現に向けて努力することの大切さを、全教育活動を通して伝え、目標実現に向けて努力する生徒の姿を認める。</li> <li>・「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法について、地域学校園内の小学校と連携を図りながら整備していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 82.2%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に向けて努力している過程を褒める機会や成功体験を意図的に増やし、大きな達成感や満足感を得られるようにし、自信を持って物事に取り組めるように支援していく。</li> <li>・生徒一人ひとりの目標達成のために、目標を教室に掲示し、視覚化・明確化するなどしていく。</li> <li>・「キャリア・パスポート」の効果的な活用方法についての研修会を設定する。</li> </ul>
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会専門委員会（保健・給食・安全・体育委員会）の活動を通して、生徒の健康や安全に対する意識を高める。</li> <li>・給食指導やお弁当の日を通して、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。</li> <li>・熱中症等の健康危害に関する情報をもとに速やかに的確に判断し、行動できるように支援する。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 89.7%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会専門委員会（保健・給食・安全・体育委員会）や地域学校園の活動を通して、生徒の健康や安全に対する意識を高める。</li> <li>・給食指導やお弁当の日を通して、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。</li> <li>・健康についての啓発を日常的に行い、健康に関する自己管理能力を高める。</li> </ul>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒会活動、部活動等において、生徒の活躍する姿だけではなく、努力している過程を褒める機会を増やし、HPなどで内外に知らせることで、生徒一人一人に自信をもたせ、より積極的な活動が出るように促していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 90.6%で、数値指標をわずかに上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒会活動、部活動等について、活躍する姿のみならず、努力している過程を褒める機会を増やし、HPなどで内外に知らせることで、生徒一人一人に自信をもたせるような働きかけを行っていく。</li> <li>・学校行事も含めた活動で、生徒が達成感を得られる場の設定をする。</li> </ul>
<p>2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業で、生徒同士のやり取りがある場面を計画的に設定し、コミュニケーション力が段階的に身に付くように支援する。</li> <li>・英語の授業以外でも、ALT等を活用し、英語に触れる機会を意図的に設ける。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 71.0%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中で連携して、コミュニケーション能力の向上に効果的な学習方法を検討する。</li> <li>・英語の授業以外の場面でもALTを積極的に活用し、英語に触れる機会や環境を意図的に設けていく。</li> </ul>

	<p>A7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「宇都宮学」の授業を充実させ、宇都宮の魅力と良さに触れさせる。</li> <li>・地域のボランティア活動や市の行事に積極的に参加する機会を拡充し、地域社会への貢献と理解を深める。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 78.3%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつのみやシティガイド協会などに講話協力を依頼し、宇都宮の魅力をより生徒に知らせる機会を作る。</li> <li>・社会教育主事関係者に協力をしてもらい、校内研修等で、教える側の資質向上を図る。</li> </ul>
<p>2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進</p>	<p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の授業で積極的にICT機器を活用するとともに、ICT支援員に生徒支援を協力してもらえる体制を整える。</li> <li>・図書館司書と連携して、授業等で有効活用できる環境を整える。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 80.6%で。数値指標をわずかに上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒支援を協力してもらうなど、ICT支援員を積極的に活用できる体制を整える。</li> <li>・他校でのデジタル機器や図書等の活用について情報を収集し、研修を行う機会を設定する。</li> </ul>
<p>2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を目指しESDを推進する。</li> <li>・総合的な学習の時間や生徒会活動を中心にESDの理念を生かした学習活動を取り入れ、日常生活の中で自分たちにできることを考え、実践できるようにする。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 79.2%で、数値指標をわずかに下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や生徒会活動を中心にESDの理念を取り入れた教育活動を展開し、日常生活の中で自分たちにできることから積極的に取り組んで行けるように支援する。</li> <li>・授業や特別活動の内容における話し合い活動や話題の提供や啓発の仕方を工夫し、学校生活の中で「持続可能な社会」の実現のための取組が行えるようにする。</li> </ul>
<p>3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する研修の機会を設け、特別支援教育に対する共通理解を図る。</li> <li>・特別支援教育コーディネーターやSCM、生徒指導主事を中心に、特別な支援を必要とする生徒の共通理解を図り、個々のニーズに応じた支援を行う。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員肯定的回答が 97.0%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の特別支援教育に対する理解をさらに深める機会を確保する。</li> <li>・個々のニーズに応じた支援の必要性・重要性についての共通理解を図っていく。</li> </ul>
<p>3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 95%以上 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめアンケート」や教育相談、宮っ子ダイアリーの記事等を活用し、いじめの早期発見に努める。</li> <li>・道徳の授業や「いじめゼロ強調月間」を有効に活用し、日常生活の言動に注意を払い、いじめの未然防止に努める。</li> <li>・教職員全体で組織的な取組を行い、自己肯定感や他者信頼感を育てていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 93.9%、保護者肯定的回答が 78.1%とともに数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の共通理解のもと、日常生活の言動に注意を払い、いじめの早期発見に努める。</li> <li>・各種アンケート等の活用により、いじめの実態調査を行なうようにする。また、各種たよりを通じて保護者への啓発を行う。</li> </ul>

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自己肯定感をもち、互いに認め合える受容的・共感的な雰囲気のある学級づくりを行っている。</li> <li>・教育相談、Q—U調査、各種アンケート等を活用し、不適応傾向のある生徒の早期発見と早期対応に努める。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者肯定的回答が 84.3%で、数値指標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや学校生活における悩みの解消のために、早期発見と柔軟な対応を個別に行う。</li> <li>・新たな不登校を生まない、居がいのある学級集団作りに努め、不登校の解消のための取り組みを、各種たよりなどで保護者にも知らせるよう図る。</li> </ul>
<p>3—(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3—(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上 地域住民肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒会活動等を活用し、生徒が主体的に活動できる場面を意図的に設け、生徒が生き生きと活動できる雰囲気づくりに努める。</li> <li>・生徒を褒める機会を増やし、生徒同士がお互いの良さを認め合える居心地の良い学級づくりを行う。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者肯定的回答が 80.5%で、数値指標を下回ったが、地域住民肯定的回答が100%で上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒会活動等を活用し、生徒が主体的に活動できる場面を拡充すると共に、生徒が生き生きと活動できる雰囲気づくりに努める。</li> <li>・生徒を褒める機会を増やし、生徒同士がお互いの良さを認め合える居心地の良い学級づくりを行う。</li> <li>・生徒に対して、各活動での賞賛をしっかりと行い、自己肯定感の向上につなげるように努める。</li> </ul>
<p>4—(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科・学年・学級の実態に応じて、習熟度別学習や少人数学習、T・Tによる授業を適宜取り入れ、個に応じた指導を行う。</li> <li>・授業のねらいの提示と振り返りを行うとともに探求型の授業や言語活動の充実を図り、主体的に学習に取り組める授業を展開する。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 92.3%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語・数学を中心に、習熟度別学習や少人数学習、T・Tによる授業を継続し、子に応じた指導に力を入れる。</li> <li>・教員がお互いの授業を見せ合うなど授業の方法について研修をする機会を設定する。</li> </ul>
<p>4—(2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間の信頼関係をより一層深められるように、風通しの良い学校づくりを進める。</li> <li>・教科部会や校務分掌部会を有効活用し、連携・協力体制を整える。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員肯定的回答が 93.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸課題の解決に対して複数の教職員で取り組む。</li> <li>・業務を円滑に進められるように、報告・連絡・相談を密にして教職員間のコミュニケーションを図る。</li> </ul>
<p>4—(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出退勤時間管理により、一人一人が勤務時間を意識し、校務の効率的な実施や計画的な処理に努める。</li> <li>・ミライムによる電子起案を活用したり、キャビネット内のデータを全職員が有効活用できるようにする。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員肯定的回答が 87.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化を可能な範囲で図り、業務遂行の効率を高める。</li> <li>・勤務時間の開始・終了を意識して諸行事の計画を作成する。また各校務分掌のグループ内での役割分担（協力体制）を明確にする。</li> </ul>

<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と連携して、あいさつ運動や清掃美化活動等の継続と活動内容の充実を図る。</li> <li>・小中一貫教育に関する各部会の連絡調整を密にし、地域学校園相互の支援体制を充実させる。</li> <li>・地域学校園の取組をHPや各種だよりを通じた広報活動を進めていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者肯定的回答が 96.1%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校園小中一貫教育に関する各部会での共通理解を徹底し、小中が共通のビジョンをもって業務にあたる。</li> <li>・学校HPや各種たよりの発行等を通して小中一貫教育の取組状況を広報していく。</li> </ul>
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上 地域住民肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域社会との連携を図り、各種ボランティアや地域の行事に積極的に参加させる。</li> <li>・地域協議会や地区コミュニティセンターとの連携を図り、学校支援ボランティアや地域人材を活用した諸活動を推進する。</li> <li>・学校HPや各種だより、地域協議会だより等で、学校の取組や生徒の様子などを発信する。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者肯定的回答が 95.1%、地域住民肯定的回答が 92.9%でどちらも数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会や地区コミュニティセンターとの連携を通して地域社会とのつながりを構築し、各種ボランティア活動や行事への積極的な参加を呼びかける。</li> <li>・地域未来塾等で、学校支援ボランティアや地域人材を活用した諸活動を推進する。</li> </ul>
<p>6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 90%以上 地域住民肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な安全点検や日々の教育活動の中で、教職員・生徒・施設利用者それぞれが気づいた不備の情報を共有し、改善していく。</li> <li>・防火・防災計画、危機管理マニュアルに基づき、不測の事態に対しても迅速に対応できるようにする。</li> <li>・友遊いずみクラブと連携し、学校施設の地域開放を円滑に行えるようにしていく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 保護者肯定的回答が 87.0%で数値指標を下回ったが、地域住民肯定的回答が 100%で上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な安全点検や日々の教育活動の中で、教職員・生徒・施設利用者それぞれが気づいた不備の情報を共有し、改善していく。</li> <li>・防火・防災計画、危機管理マニュアルに基づき、不測の事態に対しても迅速に対応できるようにする。</li> </ul>
<p>6- (2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・W I F I 環境の有効活用や一人一台端末利用方法等について研修を進め、各教科の授業や総合的な学習の時間、生徒会活動において、積極的に I C T 機器を活用していく。</li> </ul>	<p>【達成状況】 教職員肯定的回答が 93.9%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末の有効な利用方法について研修を進め、積極的に ICT を活用していく。</li> <li>・ICT 支援員の支援を円滑に受けられる体制を構築し、不測の事態に迅速に対応できるようにする。</li> </ul>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員から率先してあいさつすることで、生徒のあいさつへの意識を高める。</li> <li>・生徒会を中心としたあいさつ運動、地域学校園の小中合同あいさつ運動の取組を発展させ、あいさつの習慣化を図る。</li> <li>・登下校指導を通して、地域や小学校との結びつきを強め、地域全体であいさつができる雰囲気づくりを行う。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 97.2%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員から率先してあいさつを行うとともに、生徒会を中心としたあいさつ運動や小中合同あいさつ運動の取組を更に充実させ、地域全体であいさつし合える雰囲気づくりを行っていく。</li> <li>・あいさつ等が学校生活の基本であることを確認させ、来客等にも自主的にあいさつできるように支援していく。</li> </ul>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導部を中心に、日頃から生徒の規範意識を高める指導を根気強く継続していく。</li> <li>・きまりやマナーを守って学校生活をしている生徒の姿を称賛し、実践意欲を高める。</li> <li>・学校のきまりについて、入学時に新生入生に対する指導を徹底するとともに、教職員の共通理解を図る。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 96.7%で、数値指標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活における決まりやマナーの周知を徹底し、子どもたちが主体的に判断できる状況を作っていく。</li> <li>・生徒の自己指導能力の向上のために、適切な価値判断を生徒に対し示していく。</li> </ul>
	<p>B3 学校は、地域の小学校や高等学校との連携を図ったボランティア活動などを通して豊かな心を育てている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%以上 保護者肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の教科道徳や学級活動、総合的な学習の時間を活用し、生徒のボランティア意識を高揚する。</li> <li>・地区コミュニティセンターと連携し、ボランティア活動の機会を設け、活動の様子を紹介することで、参加意欲を高める。</li> </ul>	<p>【達成状況】 生徒肯定的回答が 77.4%で、数値指標を下回ったが、保護者肯定的回答が 90.0%で上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳や学級活動、総合的な学習の時間の授業で、社会参画や公共の精神、勤労、思いやりについての意識を高める。</li> <li>・地域のボランティアや行事に参加した生徒の活動の様子を校内で積極的に広報していく。</li> </ul>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

#### 1. 生徒アンケート結果から

- ・市内中学校平均や本校の昨年度結果と比較しても大きな差は見られなかった。
- ・調査項目A8「児童生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している」について、本校の昨年度結果よりも6.4ポイント上昇し、生徒がデジタル機器を学習に活用することが定着してきている。

#### 2. 教職員のアンケート結果から

- ・A10「教職員は、特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて、適切な支援をしている」について、本校の昨年度より18.4ポイント上昇している。校内教育支援センターの設置をし、支援を必要とする生徒に対して適切な対応に取り組んでいる成果が出ている。
- ・A17「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」について、市平均より5.8ポイント下回っている。学校全体で取り組んでいきたい。

#### 3. 保護者アンケート結果から

- ・ほとんどの調査項目において、市内中学校平均と比較して大きな差は見られなかった。
- ・A13「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気がある」やA14「教職員は、分

かる授業や児童生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている」について、本校の昨年度結果より5ポイント以上下回ってしまった。自由記述に学校公開の機会が少なく、学校での様子が分からないという意見を多数頂いたので、今後の課題としたい。

#### 4. 地域住民アンケート結果から

・B1「児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」やB2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活している」について、本校の昨年度結果を下回った。学校内だけではなく、地域住民としてあいさつすることやマナーを守って生活していくことを引き続き指導していきたい。

#### 5. 小中一貫教育・地域学校園の取組から

○B3「学校は、地域の小学校との連携を図ったボランティア活動などを通して豊かな心を育てている」については、教職員、保護者、地域住民の肯定的回答が非常に高いが、生徒の回答はあまり高くない。小学校との連携を図ったボランティアに引き続き取り組んでいきたい。

## 7 学校関係者評価

- ・生徒たちは、きまりを守り活発に日常生活をしている。先生たちとの交流も良くできている。
- ・地域の行事にボランティアとして協力しているところは非常によい。
- ・生徒も教職員も肯定的な姿勢で活動できている。反面、細かい目標（特にいじめや不登校）については、より踏み込んで指導してもよいと思う。
- ・デジタル機器を活用する時間が多くなったため、字の悪筆な生徒が増えた気がします。
- ・子ども達が元気にあいさつしてくれます。
- ・子ども達が先々を見据えて、先に進む力とこれからのグローバル化に向けて、会話ができるレベルの英語力は必要だと思う。
- ・生徒たちが落ち着いて授業を受けている様子が見られるので、きちんとした学校運営がされていると思われまます。
- ・自由参観など行い、学校の様子を分かってもらえるといいと思う。
- ・地域ボランティアを通して、地域との交流ができ、地域も元気になれるのでとてもよいと思う。
- ・学校の様子等の発信の仕方をより工夫するとよいのではないかと思います。
- ・小学校との交流について、保護者や地域住民に情報提供、発信していくとよいのではないかと思います。
- ・昨年度と比べて、ポイントが下がった項目もあるが、あまり数値にとらわれることなく取組を進めていってほしい。ただし、生徒と教職員の回答に差がある項目は検証が必要だと思う。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

### 【まとめ】

- ・ほとんどの調査項目において、肯定的回答の割合が、「本校の経年比較」や「市平均との比較」から見て、大きな差は見られない。
- ・回答者の立場によって評価が分かれるものがあるので、その原因を分析し、どの立場でも評価に差がでないように取り組み方を工夫、改善をしていく。

### 【次年度に向けて】

- ・生徒一人一人を大切にす指導を通して、心豊かな人間性の育成に努めていく。
- ・確かな学力の定着を図れるように、教職員が専門職としても自覚を持って、自己研鑽に励む。
- ・学校行事や生徒会活動等を通して、生徒が主体的に活動する場面を意図的に取り入れる。

○生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成に取り組む。